



令和8年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

令和8年5月15日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス
 コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 洋一

TEL 0422-38-1121

定時株主総会開催予定日 令和8年6月25日 配当支払開始予定日

令和8年6月26日

有価証券報告書提出予定日 令和8年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期の連結業績(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期	184,474	19.6	7,594	72.3	8,345	62.1	3,772	72.6
7年3月期	154,223	20.9	4,406	17.2	5,149	13.9	2,185	25.0

(注) 包括利益 8年3月期 3,794百万円 (72.5%) 7年3月期 2,200百万円 (29.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
8年3月期	196.74		7.3	6.8	4.1
7年3月期	114.67		4.9	5.3	2.9

(参考) 持分法投資損益 8年3月期 百万円 7年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年3月期	140,787	57,667	41.0	2,800.13
7年3月期	104,155	45,615	43.8	2,392.83

(参考) 自己資本 8年3月期 57,667百万円 7年3月期 45,615百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
8年3月期	15,347	26,502	25,615	28,234
7年3月期	8,322	17,739	7,143	13,767

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
7年3月期		12.00		12.00	24.00	457	20.9	1.0
8年3月期		12.00		12.00	24.00	475	12.2	0.9
9年3月期(予想)		13.00		13.00	26.00		13.1	

(注) 9年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当1円00銭

9年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当1円00銭

3. 令和9年3月期の連結業績予想(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,000	19.4	2,500	11.7	2,700	16.7	1,250	3.4	65.18
通期	215,000	16.5	8,200	8.0	8,400	0.7	3,800	0.7	198.16

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社松富士、株式会社松富士食品、除外 0 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	8年3月期	20,595,468 株	7年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	8年3月期	731 株	7年3月期	625 株
期中平均株式数	8年3月期	19,176,327 株	7年3月期	19,063,428 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、令和8年5月20日に当社Webサイトに公開する予定です。

<https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の異動	15
(2) その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や、賃上げを背景とした雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりや為替動向、中東情勢などの地政学的リスクを背景に、物価上昇を通じた個人消費への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原料、資材、人件費、エネルギー単価の高騰等による影響、消費者の衛生意識への高まり等、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、“みんなの食卓でありたい”をスローガンに、「新規出店」「既存店改装」「人材投資」の持続的成長投資に重点を置き、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態88店舗、とんかつ業態3店舗、鮎業態4店舗、海外・その他業態9店舗（うちFC2店舗）の合計104店舗を出店。また、株式会社松富士及び株式会社松富士食品の連結子会社化により、ラーメン業態121店舗増加いたしました。一方で、直営の牛めし業態11店舗、とんかつ業態1店舗、その他業態1店舗については撤退し、海外4店舗について撤退及びFC契約の解除をおこないました。当連結会計年度の店舗数はFC店を含め、1,573店舗（うち国内FC5店舗、海外24店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態1,185店舗、とんかつ業態195店舗、ラーメン業態132店舗、鮎業態21店舗、海外・その他の業態40店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、全面改装5店舗、一部改装173店舗の合計178店舗の店舗改装を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

また、人材投資として、ベースアップ、初任給の引き上げ等の待遇改善等を展開してまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、松屋の世界紀行シリーズとしてセネガル家庭料理「マフェ」、韓国発・旨辛グルメ「ロゼクリームチキン」、スリランカ料理「デビルチキン」、日越同時発売の「コムタム風ポークライス」、ジャマイカ料理「ジャークチキン」、タイ料理「マッサマンカレー」、その他「桜クリームシチュー」「ニンニク野菜牛めし」「チーズバーガー丼」「チキンケバブ丼」「うなたま丼」「今治焼豚玉子飯」「ドライグリーンカレー」「カルビホルモン丼」「シビ辛麻辣トンテキ定食」「西条てっぱんナポリタンハンバーグ」「いくら丼」「カルビと特選プリズケット肉の合い盛り丼」「ちいかわのすき焼き鍋膳」「鶏のだて煮風鍋」「ちいかわ 鬼辛カレー」「牛肉と牡蠣のオイスターソース炒め定食」「サムギョブサル風極厚豚カルビ焼肉定食」「煮込みキャベツのトマトハンバーグ定食」「創業ビーフ牛タンカレー」等の新商品の販売をいたしました。

これらの取り組みの結果、当連結会計年度の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前期比110.5%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前期比19.6%増の1,844億74百万円となりました。

エネルギー費、各種調達価格の上昇等により、原価率は前年の36.1%から36.8%と上昇いたしました。一方、売上高の増加により、固定費の占める割合が低下したこと等により、販売費及び一般管理費につきましては、前期の61.0%から59.1%へと改善いたしました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前期の66.9%から66.4%と改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前期比72.3%増の75億94百万円、経常利益は前期比62.1%増の83億45百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比72.6%増の37億72百万円となり、いずれも過去最高益を達成いたしました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は1,407億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ366億32百万円増加いたしました。このうち、流動資産は502億60百万円となり、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ162億92百万円増加いたしました。また、固定資産は905億26百万円となり、新規出店や改装実施、工場生産設備などへの投資による有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ203億39百万円増加いたしました。

当連結会計年度末における負債は831億19百万円となり、買掛金が減少した一方、長期借入金増加等により、前連結会計年度末に比べ245億79百万円増加いたしました。

当連結会計年度末における純資産は576億67百万円となり、利益剰余金増加等により前連結会計年度末に比べ120億52百万円増加いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の43.8%から41.0%となっております。

なお、当連結会計年度末においては、令和8年1月に子会社化した株式会社松富士及び株式会社松富士食品の令和7年12月31日を基準日とした仮決算に基づく貸借対照表のみを連結しております。これにより、当連結会計年度末の財政状態には、同社の連結に伴う資産等の増加が含まれております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ144億66百万円増加し、282億34百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は153億47百万円（前年同期は83億22百万円の収入）となりました。

これは「税金等調整前当期純利益」72億3百万円、「減価償却費及びその他の償却費」68億69百万円、「未払消費税等の増減額」14億1百万円、「減損損失」11億86百万円といった資金増加要因があった一方、「法人税等の支払額」24億82百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は265億2百万円（前年同期は177億39百万円の支出）となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」162億96百万円、「連結範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出」82億19百万円、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」18億19百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は256億15百万円（前年同期は71億43百万円の収入）となりました。

これは「長期借入れによる収入」265億円、「短期借入れによる収入」225億円、「株式の発行による収入」86億76百万円といった資金増加要因があった一方、「短期借入金の返済による支出」225億円、「長期借入金の返済による支出」76億70百万円、「リース債務の返済による支出」9億91百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期	令和8年3月期
	期末	期末	期末	期末	期末
自己資本比率（%）	52.7	52.0	48.1	43.8	41.0
時価ベースの自己資本比率（%）	89.6	97.6	118.8	108.5	83.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	2.2	2.2	1.8	3.8	3.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	△112.0	△100.7	△120.6	△43.0	△34.8

※自己資本比率：自己資本／総資本

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

国内経済環境は、景気の回復基調が継続しているものの、不安定な国際環境により、今後の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境下の中、今後も食のインフラとしての責務を果たすべく、新商品の販売等の販売促進活動の強化、新規出店の拡大、既存店舗の改装等を積極的に実施し、業容の拡大を目指してまいります。同時に、コスト構造改革を推し進め、収益向上を図ってまいります。

令和9年3月期の連結業績予想数値につきましては、令和8年3月期に引き続き過去最高益の達成を計画しております。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務活動は主に日本国内であり、当面は日本基準を採用することとしております。今後の海外での活動状況、外国人株主比率の推移及び国内における I F R S（国際財務報告基準）適用動向等を踏まえ、I F R S 適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当連結会計年度 (令和8年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,867,291	30,684,158
受取手形、売掛金及び契約資産	5,211,784	6,835,864
商品及び製品	1,653,380	1,765,488
原材料及び貯蔵品	7,803,251	8,213,241
その他	2,432,663	2,761,822
流動資産合計	33,968,372	50,260,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,656,257	78,000,272
減価償却累計額	△36,175,801	△39,870,085
建物及び構築物（純額）	29,480,456	38,130,187
機械装置及び運搬具	9,287,466	9,866,212
減価償却累計額	△6,737,296	△7,403,273
機械装置及び運搬具（純額）	2,550,170	2,462,939
工具、器具及び備品	14,141,665	16,729,690
減価償却累計額	△9,680,416	△11,357,445
工具、器具及び備品（純額）	4,461,249	5,372,245
土地	9,344,473	9,344,473
リース資産	4,052,946	4,295,530
減価償却累計額	△1,687,204	△2,451,473
リース資産（純額）	2,365,742	1,844,056
その他	1,021,511	1,402,269
減価償却累計額	△314,616	△478,472
その他（純額）	706,894	923,796
建設仮勘定	437,058	1,416,960
有形固定資産合計	49,346,045	59,494,658
無形固定資産		
のれん	—	7,434,742
ソフトウェア	437,334	346,948
その他	78,845	336,258
無形固定資産合計	516,180	8,117,949
投資その他の資産		
投資有価証券	102,940	103,278
敷金及び保証金	13,244,947	14,709,013
長期前払費用	524,474	681,110
店舗賃借仮勘定	735,158	748,590
繰延税金資産	3,625,314	3,903,380
投資不動産	357,630	361,950
減価償却累計額	△270,380	△280,357
投資不動産（純額）	87,250	81,592
その他	2,014,517	2,720,874
貸倒引当金	△10,166	△33,864
投資その他の資産合計	20,324,436	22,913,977
固定資産合計	70,186,662	90,526,585
資産合計	104,155,034	140,787,160

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当連結会計年度 (令和8年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,414,896	4,026,265
1年内返済予定の長期借入金	7,354,524	10,505,815
未払金	7,610,299	8,943,678
リース債務	922,746	839,032
未払法人税等	1,487,392	2,784,966
賞与引当金	1,380,540	1,519,379
その他	2,828,602	4,835,296
流動負債合計	25,999,001	33,454,434
固定負債		
長期借入金	24,664,903	41,464,627
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	2,428,675	2,172,402
資産除去債務	4,730,724	5,291,159
繰延税金負債	2,359	872
その他	146,180	167,894
固定負債合計	32,540,643	49,664,756
負債合計	58,539,645	83,119,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	11,013,968
資本剰余金	6,976,404	11,334,441
利益剰余金	31,876,698	35,192,019
自己株式	△2,638	△3,284
株主資本合計	45,506,396	57,537,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,587	1,819
為替換算調整勘定	107,405	129,006
その他の包括利益累計額合計	108,992	130,825
純資産合計	45,615,389	57,667,969
負債純資産合計	104,155,034	140,787,160

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日）	当連結会計年度 （自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日）
売上高	154,223,084	184,474,683
売上原価	55,635,595	67,970,977
売上総利益	98,587,489	116,503,705
販売費及び一般管理費	94,180,764	108,909,099
営業利益	4,406,724	7,594,605
営業外収益		
受取利息	40,444	70,291
受取配当金	1,887	2,098
受取賃貸料	198,838	202,467
協賛金収入	58,534	59,130
業務受託料	565,837	702,236
その他	384,829	464,517
営業外収益合計	1,250,371	1,500,741
営業外費用		
支払利息	199,925	412,092
賃貸費用	193,834	204,629
その他	114,272	133,521
営業外費用合計	508,032	750,244
経常利益	5,149,064	8,345,102
特別利益		
固定資産売却益	197	174
固定資産受贈益	—	1,826
受取保険金	68,676	1,100
受取補償金	—	78,000
収用補償金	41,003	—
その他	—	92
特別利益合計	109,877	81,193
特別損失		
固定資産売却損	4,968	3,224
固定資産除却損	14,838	10,515
店舗閉鎖損失	328	15,115
減損損失	854,445	1,186,301
その他	74,912	7,596
特別損失合計	949,492	1,222,752
税金等調整前当期純利益	4,309,449	7,203,543
法人税、住民税及び事業税	2,071,576	3,614,693
法人税等調整額	51,876	△183,990
法人税等合計	2,123,452	3,430,703
当期純利益	2,185,996	3,772,840
親会社株主に帰属する当期純利益	2,185,996	3,772,840

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日）	当連結会計年度 （自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日）
当期純利益	2,185,996	3,772,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△348	231
為替換算調整勘定	14,490	21,601
その他の包括利益合計	14,142	21,832
包括利益	2,200,139	3,794,673
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	2,200,139	3,794,673
非支配株主に係る包括利益	—	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自令和6年4月1日 至令和7年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,655,932	6,976,404	30,148,225	△1,430	43,779,131
当期変動額					
剰余金の配当			△457,523		△457,523
親会社株主に帰属する当期純利益			2,185,996		2,185,996
自己株式の取得				△1,208	△1,208
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	—	—	1,728,472	△1,208	1,727,264
当期末残高	6,655,932	6,976,404	31,876,698	△2,638	45,506,396

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,935	92,914	94,850	43,873,981
当期変動額				
剰余金の配当				△457,523
親会社株主に帰属する当期純利益				2,185,996
自己株式の取得				△1,208
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△348	14,490	14,142	14,142
当期変動額合計	△348	14,490	14,142	1,741,407
当期末残高	1,587	107,405	108,992	45,615,389

当連結会計年度（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,655,932	6,976,404	31,876,698	△2,638	45,506,396
当期変動額					
剰余金の配当			△457,519		△457,519
新株の発行	4,358,036	4,358,036			8,716,072
親会社株主に帰属する当期純利益			3,772,840		3,772,840
自己株式の取得				△646	△646
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）					
当期変動額合計	4,358,036	4,358,036	3,315,320	△646	12,030,747
当期末残高	11,013,968	11,334,441	35,192,019	△3,284	57,537,144

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,587	107,405	108,992	45,615,389
当期変動額				
剰余金の配当				△457,519
新株の発行				8,716,072
親会社株主に帰属する当期純利益				3,772,840
自己株式の取得				△646
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	231	21,601	21,832	21,832
当期変動額合計	231	21,601	21,832	12,052,580
当期末残高	1,819	129,006	130,825	57,667,969

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,309,449	7,203,543
減価償却費及びその他の償却費	5,653,106	6,869,685
減損損失	854,445	1,186,301
賞与引当金の増減額（△は減少）	72,789	90,927
受取利息及び受取配当金	△42,331	△72,389
支払利息	199,925	412,092
有形固定資産除売却損益（△は益）	△21,394	13,564
店舗閉鎖損失	328	15,115
建設仮勘定及び店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	2,314,323	2,072,003
売上債権の増減額（△は増加）	△691,929	△1,034,390
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,573,323	△681,402
仕入債務の増減額（△は減少）	1,635,498	△723,841
未払消費税等の増減額（△は減少）	△637,350	1,401,192
未収消費税等の増減額（△は増加）	28,758	—
その他	413,643	1,078,144
小計	10,515,941	17,830,547
法人税等の支払額	△2,193,344	△2,482,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,322,597	15,347,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△14,354,111	△16,296,976
有形固定資産の売却及び収用等による収入	41,556	6,139
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△2,077,137	△1,819,550
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	148,341	109,489
利息及び配当金の受取額	21,087	36,139
関係会社株式の取得による支出	△1,225,914	△530,195
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△8,219,998
その他	△293,713	212,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,739,892	△26,502,400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,000,000	22,500,000
短期借入金の返済による支出	△11,000,000	△22,500,000
長期借入れによる収入	14,500,000	26,500,000
長期借入金の返済による支出	△5,784,747	△7,670,687
リース債務の返済による支出	△919,168	△991,759
株式の発行による収入	—	8,676,877
自己株式の取得による支出	△1,208	△646
利息の支払額	△193,586	△440,617
配当金の支払額	△457,523	△457,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,143,766	25,615,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,392	5,619
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,253,136	14,466,866
現金及び現金同等物の期首残高	16,020,428	13,767,291
現金及び現金同等物の期末残高	13,767,291	28,234,158

（連結キャッシュ・フロー計算書の欄外注記）

- （注） 投資活動において建設仮勘定及び店舗賃借仮勘定等として一旦支出されたが、その取崩し等の際に費用（機器備品費・少額備品費・賃借手数料・地代家賃等）として計上される場合、キャッシュ・フローに動きがないにもかかわらず、営業活動の税金等調整前当期純利益はこの分減額されます。このため、この費用分等を営業活動によるキャッシュ・フローに加算調整する必要があり、「建設仮勘定及び店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用」という科目を設定しております。

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度（自令和6年4月1日 至令和7年3月31日）

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自令和6年4月1日 至令和7年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

飲食事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

飲食事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自令和6年4月1日 至令和7年3月31日）

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自令和6年4月1日 至令和7年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自令和6年4月1日 至令和7年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自令和7年4月1日 至令和8年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
1株当たり純資産額	2,392.83円	2,800.13円
1株当たり当期純利益	114.67円	196.74円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当連結会計年度 (令和8年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	45,615,389	57,667,969
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	45,615,389	57,667,969
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	19,063	20,594

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	2,185,996	3,772,840
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	2,185,996	3,772,840
期中平均株式数（千株）	19,063	19,176
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・新任取締役候補

取締役 中谷 智子（現 中谷国際特許事務所 代表）

（注）中谷 智子は、社外取締役の候補者であります。

・退任予定取締役

取締役会長 瓦葺 利夫

③ 就任及び退任予定日

令和8年6月25日

(2) その他

① 生産の状況

当社グループの生産実績は、次のとおりであります。

形態別	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)	
	金額 (千円)	前期比 (%)
肉類	19,492,738	116.9
米類	9,191,307	141.3
タレ・ソース類	6,510,697	110.1
野菜類	4,220,074	122.1
その他	5,141,512	111.4
合計	44,556,330	119.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注の状況

当社グループは、受注活動を行っていないため該当事項はありません。

③ 販売の状況

形態別	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)		前期比
	金額 (千円)	構成比 (%)	比率 (%)
国内直営店売上			
牛めし定食事業	144,179,798	78.2	120.1
とんかつ事業	23,457,959	12.7	113.8
鮭事業	3,546,067	1.9	158.9
その他	2,205,075	1.2	129.7
小計	173,388,900	94.0	119.9
外部販売売上			
食材売上	8,191,166	4.4	111.2
ロイヤルティ等収益	91,545	0.1	171.8
その他売上	2,803,069	1.5	126.1
小計	11,085,782	6.0	115.0
合計	184,474,683	100.0	119.6

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. その他売上の主な内訳

㈱エム・テイ・テイ（修繕・メンテナンス売上等）	211,235千円
㈱エム・エル・エス（クリンリネス事業売上等）	149,134千円
上海松屋餐飲管理有限公司（飲食事業売上）	755,063千円
台灣松屋餐飲股份有限公司（飲食事業売上）	1,678,606千円